



府中二中だより

令和5年度
スローガン

「学びと思いやり」
真心 真剣 真理

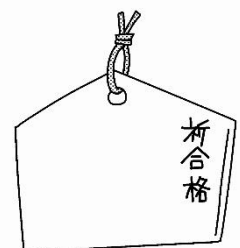
令和5年度
11月10日発行
令和5年度進路選択号
府中第二中学校
校長 成清敏治
電話 361-9302

「受検に向けて」 制度を理解、目的を明確に、最後まで全力で

まずは「推薦入試」についてです。推薦入試を希望している人、その1つの条件は、私立高校であれば基準の成績をクリアしているかです。これは現実です。でもそれはある一面です。1番重要視されるのは人物です。この人は高校生活で良い影響を与えてくれるのか、どんな頑張りを見せてくれるのか、高校側は少しでも人物的に良い人を高校に入れたい。断じて成績だけではありません。だから学校生活を疎かにする人、周囲に対して悪い影響を与える人は、裏表があって人を平気で裏切るような人は、推薦入試は受検できません。6月の進路説明会の資料冊子にも、推薦基準は「自己の向上に努力できる人」とあり、成績以上に人物が保証できないと推薦できません。推薦入試を希望する人とは、全員と校長面接を行い、高校側への願書に印を押します。推薦制度は学校同士の信頼関係によるものです。「中学校でも頑張っていますから必ず高校でも頑張ってくれます」と高校に送り出す制度です。そのことを理解して、推薦制度を活用してください。

次に「高校の目的」です。高校は人生の進路選択の第1歩ですが、そこで人生の勝負は決まらない。私が担任した卒業生のお話をします。第1志望の都立高校から私立高校すべて不合格、辛うじて第2次募集があった私立高校に入りました。しかし彼女は高校での目的がありました。将来の自分の夢の実現のため、語学を徹底して学び、短期外国留学にも行き、学年でトップの成績を維持して、大学を経て、国際関係の大きなプロジェクトを担う職業に就きました。もう一人の卒業生は、野球の選手として将来を期待され、有名な高校からオファーがあり、特待推薦で高校に行きました。しかしケガに悩まされ、思うような結果が出せずに高校2年生の途中で野球を断念。高校での目的が野球しかなかったため、学習に追いついていけず留年し、高校を中退するはめに。悪い仲間引きずられ、最後は犯罪に手を染めてしまうまで落ちぶれてしまいました。両極端の卒業生を紹介しましたが、2人の分岐点は「高校生活での目的」のもち方です。先の先まで見通した目標の上に、その場を頑張る目的はあります。人生の目標を立て、高校をどのような目的をもって過ごすのか、真剣に考えてください。

最後に「中学校生活」です。受験はあくまで通過点です。卒業式まで中学校生活はあります。今月もらう教育相談用の成績は、あくまで途中経過です。3学期最後の通知表が高校側に正式にいく数字です。以前こんなことがありました。2学期の成績から7つも数字が落ちた生徒のことで、高校から電話がありました。「どんな生徒ですか。裏表がある生徒ですか」。そうです、とは言いませんでしたが、その傾向はあるかもしれま



せんと。入学する生徒のことを高校側も様々なデータから見ていきます。中学校生活の充実なくして、その延長の上級学校の充実もありません。全員が合格するまで、みんなで笑って卒業するまで、3年生全員で協力し全力で取り組むことが皆さんの努力義務です。受験は団体戦・総力戦です。そんな学年を目指して、日々充実させてください。皆さんの健闘を祈っています。

(3年学年集会 11月1日)

保護者の皆さまへ

①スマホのトラブル、不適切動画の配信・拡散・保持

7月13日に「性的姿態撮影等処罰法」が施行され、不適切動画の配信や拡散、保持が処罰対象として厳しくなりました。不適切動画に関しては、いじめ被害の拡大や拡散等防止のため、直ちに警察に相談・通報が徹底されています。

(いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について

令和5年2月7日 文部科学省通知)

スマホに関してのトラブルは、犯罪行為や名誉棄損等に利用されるケースもあり、厳罰化への動きがあります。大人と同じ機器を子供が持っていることの認識をもち、大人と同等の犯罪行為が適用されること(家庭裁判所や児童相談所扱いになる可能性は十分にありま)などを、御家庭で対話して管理監督を徹底していただきたいと思います。学校も、リテラシー教育やセーフティ教室などで、警察と連携しながらスマホの危険性について教育活動を行っていますので、スマホトラブルを未然に防ぐよう指導していきましょう。

②来年度へ向けて

時代の変化が激しく、膨大な情報に流されがちな毎日です。新型コロナウイルスが5類になり半年。様々な組織を再構築していく時期ではないかと思われれます。学校教職員の働き方改革、地域の少子高齢化、家庭の共働き世帯の増加等々、それぞれに課題があり、その解決に向けて組織の在り方や業務改善などを考えていく必要があります。

その意味において、学校も地域組織もPTAも変えるべきものは変え、時代に即した、地域に即した組織にしていくべきものだと考えます。率直に意見交換しながら、社会総がかりの「二中応援団」を結成し、生徒の笑顔が溢れる府中第二中学校を目指して、教育活動を充実させていきたいと考えていますので、何とぞ御理解と御協力をよろしくお願い致します。

デフバドミントン日本代表 中学生交流会(11月4日)

白糸台体育館が日本代表の練習会場になるとのことで、本校のバドミントン部が交流会に参加しました。最初にろう者への理解促進のために講話があり、聴力に障がいがある方への理解を深めました。その後には選手による実演とペアを組んでダブルスの試合を経験。とても印象深く、思い出に残る交流会になりました。

今後の学校行事予定

- 11月13日(月)～15日(水) 2学期期末考査
- 11月18日(土) 土曜授業 スクールコミュニティ協議会
学校保健委員会 PTA運営委員会
- 11月22日(水) K組連合学芸会
- 11月26日(日) 3年生スピーキングテスト(外部)
- 11月28日(火) 2年生鎌倉校外学習

※健康に留意! 3年生は大事な時期! 手洗い・うがいを徹底!

